

# 宮町急傾斜地崩壊防止施設被災状況現地調査報告

調査箇所 宮町急傾斜地崩壊危険箇所（茨城県水戸市宮町）  
調査日 平成 23 年 3 月 14 日  
調査者 国総研 西土砂災害研究官、桂研究官

## 【全般状況】

- ・宮町急傾斜地崩壊危険箇所は水戸市中心市街地にあり、斜面上部に水戸協同病院があり、斜面下部には人家が多く建っている。高さは約 15m で昭和 46 年から施設整備が進んでいる。
- ・3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、斜面、対策施設に変状を生じたため、水戸市は斜面下部にある住民(30 世帯 58 名)に対し 3 月 13 日 17:50 に避難指示を発令し、現在も継続している。

## 【被災状況】

- ・対策区域のほぼ全域にわたり斜面上部にあたる病院敷地内に、クラックの発生等が見られる。クラックの開口幅は最大で 10cm、沈降高は 30cm 程度であった。一部では建築物壁面境（建設中）までクラックが達している。
- ・重力式擁壁工+3 段の張ブロック工で構成される施設のうち、最上部の法面が前面に向かってすべり、その影響を受けて下部の張ブロックも変形している。最下段の擁壁には変状が見られていない。
- ・地震に伴う変状と見られるが、現在も移動が継続しているか調査時点では不明であった。



①建物沿いに入ったクラック



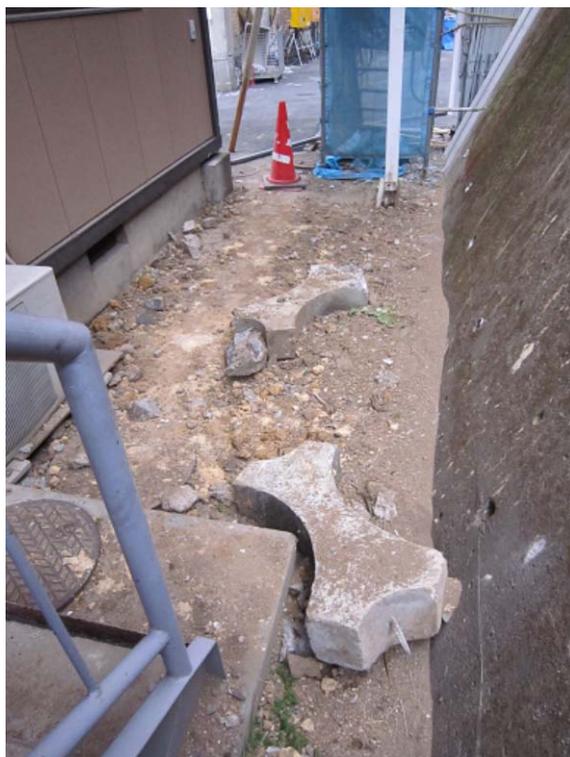
②斜面上端から斜面下方をのぞむ（のり砕工の破片が散乱している）



③クラックが入っている



④駐車場にもクラックが入っている



⑤斜面下部に落下したのり砕工の破片



⑥擁壁工、のり砕工、積ブロック（擁壁に特に異常は見られず）



⑦擁壁工、のり砕工（擁壁に特に異常は見られず）